

1 章 確率

演習

演習 1

(1) n 回終了したとき、偶数である確率が p_n であるから、奇数である確率は $1 - p_n$ である。

1 回の試行で、偶数を引く確率は $\frac{1}{3}$ ，奇数を引く確率は $\frac{2}{3}$

したがって、 $p_{n+1} = \frac{1}{3} p_n + \frac{2}{3} (1 - p_n)$ よって、 $p_{n+1} = -\frac{1}{3} p_n + \frac{2}{3}$

$$(2) \quad p_1 = \frac{1}{3}$$

$p_{n+1} - \frac{1}{2} = -\frac{1}{3} \left(p_n - \frac{1}{2} \right)$ と変形すると

数列 $\left\{ p_n - \frac{1}{2} \right\}$ は 初項 $p_1 - \frac{1}{2} = \frac{1}{3} - \frac{1}{2} = -\frac{1}{6}$ ，公比 $-\frac{1}{3}$ の等比数列であるから

$$p_n - \frac{1}{2} = -\frac{1}{6} \left(-\frac{1}{3} \right)^{n-1}$$

$$p_n = \frac{1}{2} + \frac{1}{2} \left(-\frac{1}{3} \right)^n$$

$$\text{よって、} p_n = \frac{1}{2} \left\{ 1 + \left(-\frac{1}{3} \right)^n \right\}$$

演習 2

(1) 1 回の試行で 1 の目が出る確率は $\frac{1}{6}$

k 回目までに 3 回目の 1 の目が出るのは、 $k-1$ 回目までに、1 の目が 2 回出て k 回目に 3 回目の 1 の目が出ることである。

$$\text{したがって、} p_k = {}_{k-1}C_2 \left(\frac{1}{6} \right)^2 \left(\frac{5}{6} \right)^{k-3} \times \frac{1}{6}$$

$$\text{よって} \quad p_k = \frac{(k-1)(k-2) \cdot 5^{k-3}}{2 \cdot 6^k}$$

$$p_{k+1} = \frac{k(k-1) \cdot 5^{k-2}}{2 \cdot 6^{k+1}}$$

(2) $p_k < p_{k+1}$ となる k の値の範囲を求める。

$$\frac{(k-1)(k-2) \cdot 5^{k-3}}{2 \cdot 6^k} < \frac{k(k-1) \cdot 5^{k-2}}{2 \cdot 6^{k+1}}$$

$$k-2 < \frac{k \cdot 5}{6}$$

$$6k-12 < 5k \quad \text{より} \quad k < 12$$

$k=12$ のとき, p_k と p_{k+1} の値は

$$\begin{aligned} p_{12} &= \frac{11 \cdot 10 \cdot 5^9}{2 \cdot 6^{12}} & p_{13} &= \frac{12 \cdot 11 \cdot 5^{10}}{2 \cdot 6^{13}} \\ &= \frac{2 \cdot 11 \cdot 5^{10}}{2 \cdot 6^{12}} & &= \frac{2 \cdot 11 \cdot 5^{10}}{2 \cdot 6^{12}} \end{aligned}$$

これより

$$p_0 < p_1 < \cdots < p_{11} < p_{12} = p_{13} > p_{14} > \cdots$$

がなりたつ。

よって, $k=12$ または 13 のとき p_k は最大となる。